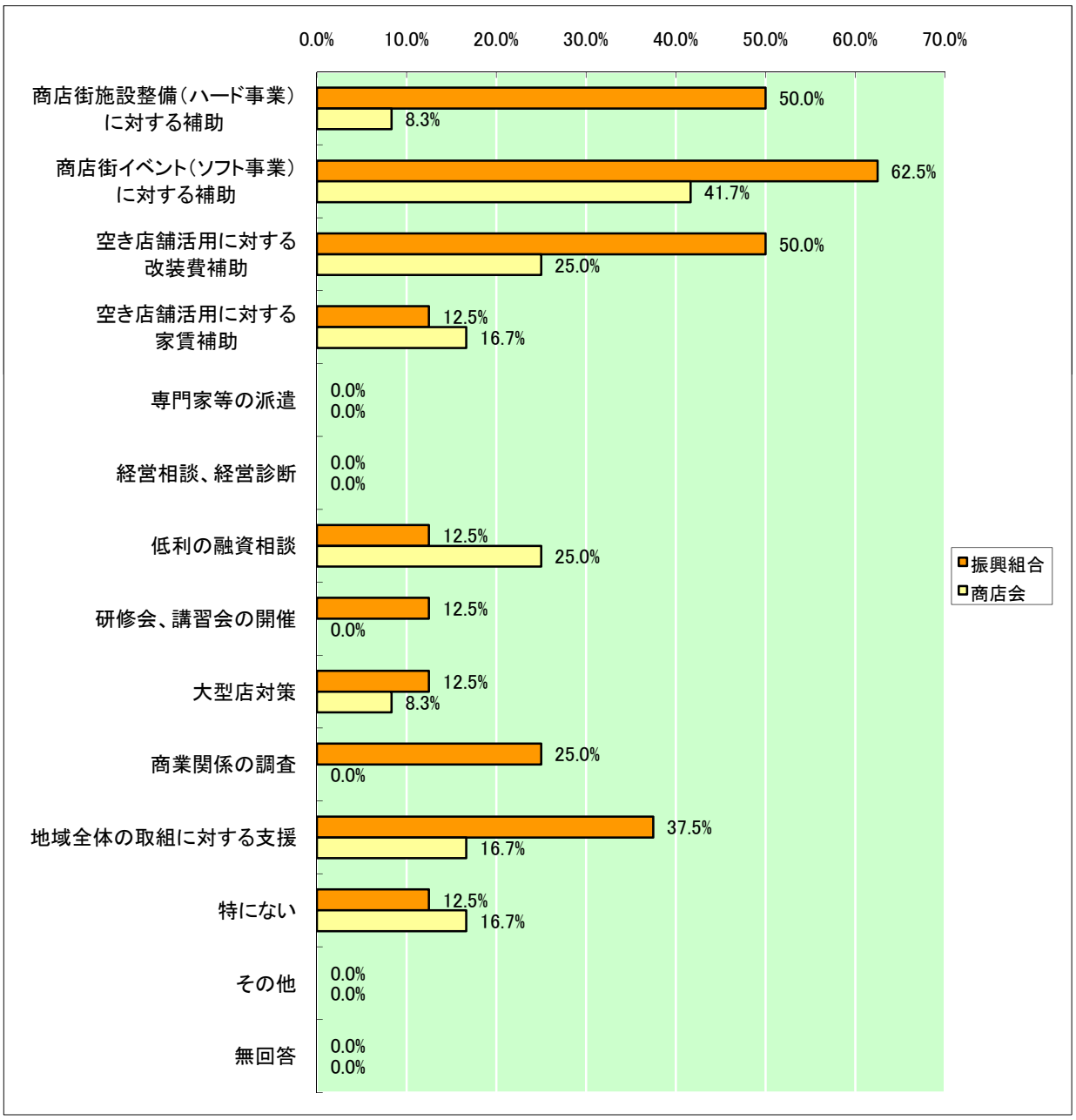
Ⅵ. 行政等の支援について

1. 商店街が行政に対して望む事業

■ 振興組合が行政に対して望む事業については、「商店街イベント(ソフト事業)に対する補助」(62.5%) が最も多く、「商店街施設整備(ハード事業)に対する補助」(50.0%)、「空き店舗活用に対する改装費補助」(50.0%)、「地域全体の取組に対する支援」(37.5%) となっている。

□ 商店会でも、振興組合と同様の事業を望む傾向がみられるが、「商店街施設整備(ハード事業)に対する補助」 の割合が振興組合に比べ大幅に低くなっている。(図37)

「図37 行政に対して望む事業(複数回答)」(H22年度:振興組合N=8:商店会N=12)

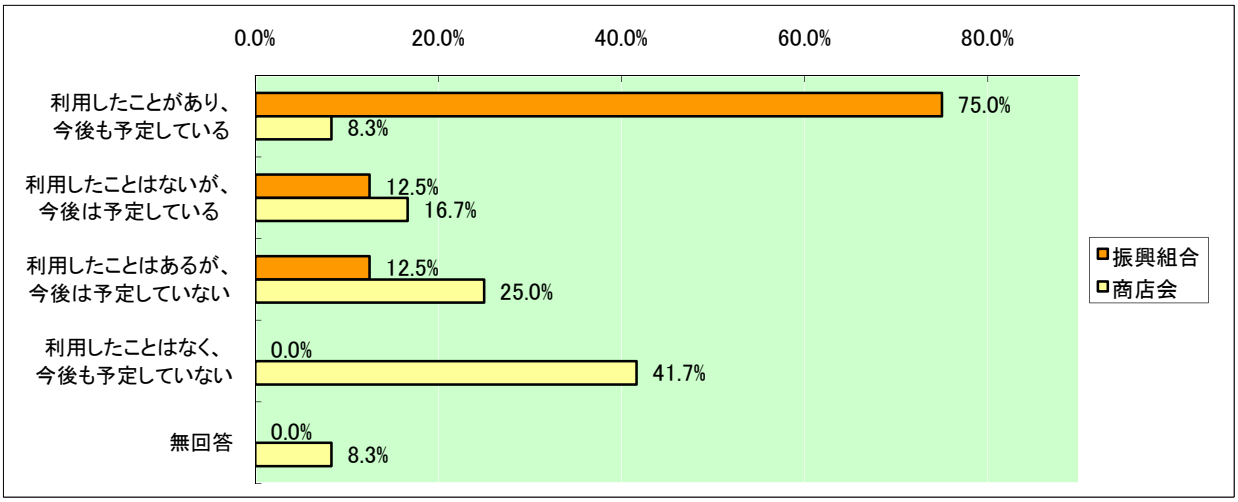


2. 補助事業利用の有無と今後の利用予定

■ 振興組合の補助事業利用の有無と今後の利用予定については、「利用したことがあり、今後も予定している」(75.0%)が最も多くなっている。なお、1度も利用したことのない振興組合は無かった。

□ 商店会では、「利用したことはなく、今後も予定していない」(41.7%) が最も多くなっている。(図38)

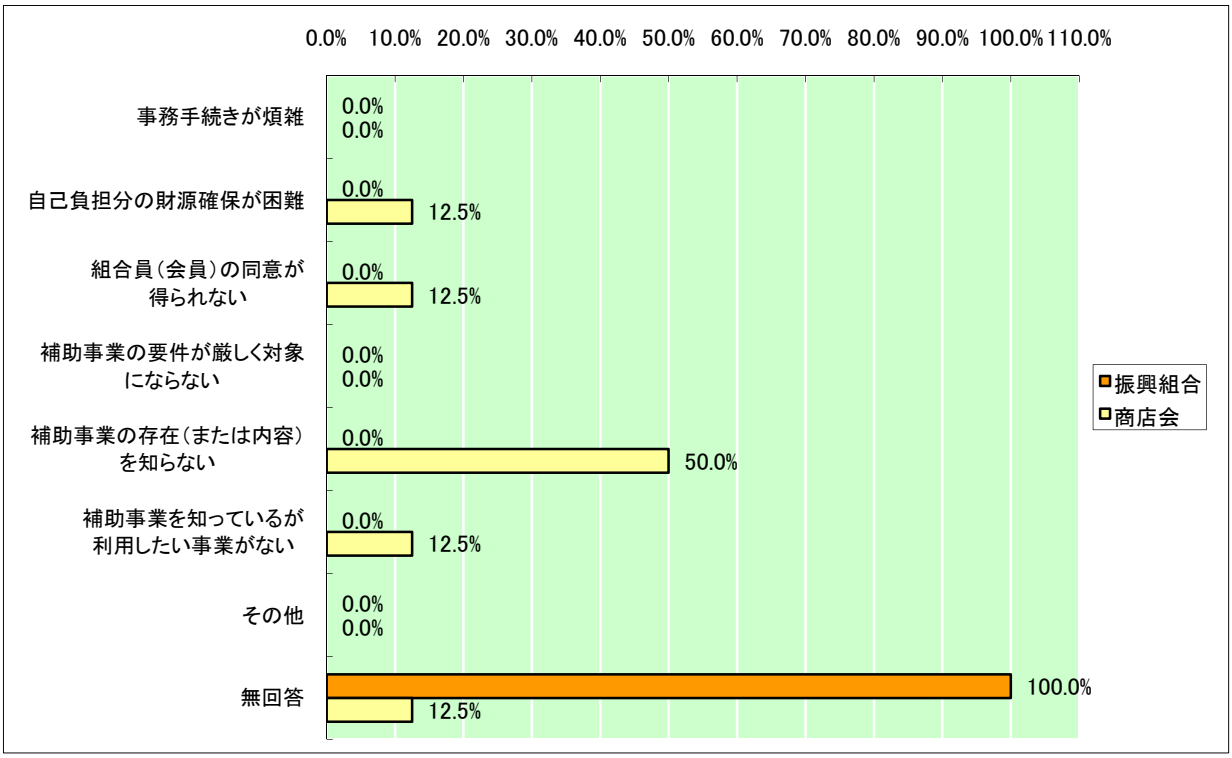
「図38　補助事業(国・道・市)利用の有無(複数回答)」(H22年度:振興組合N＝8:商店会N＝12)



3. 補助事業の利用を予定していない理由

□ 補助事業の利用を予定していない理由については商店会のみ回答しており、「補助事業の存在(または内容)を知らない」(50.0%)　が最も多くなっている。(図39)

「図39　補助事業を利用しない理由(複数回答)」(H22年度:振興組合N＝1:商店会N=8)



４．商店街の活性化や今後の商店街のあり方等についての意見・要望

■ 今後の商店街のあり方については、この先、人口は確実に減少していく中で、どの様に自分の店を守っていけるか等、個々の人がもう少し現実に立ち帰って、自分の商売のやり方・・・・というものについて見つめ直す事が大事かと思います。

■ 振興組合の諸会費の中で道振連、市商振連、中央会の等支出が大となっている為見直すべき。組織の合併も将来的に必要と思います。

□ 会費（月１，000円）の負担とかで、商店会そのものが存続できるか難しい。